

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成22年6月9日 第37号
浜田市農林業支援センター

はじめに

天気予報によると、まもなく梅雨入りだそうです。長雨で湿気がたまり、ジメジメする季節ですが、各地区ではホタル祭りや観賞ツアーが開催されます。ホタルの光には、私達の気持ちを和ませ、安らぎを与えてくれる「癒し」の効果があると言われています。田植えが終わって一段落ついたところで、ゆっくりホタル観賞にお出かけいただき、心のリフレッシュをしてみたいはいかがでしょうか。

1. 各支援チームからの話題

新規就農支援チーム（担当：前原^{まえばら}・山本^{やまもと}）

西条柿栽培講座から新たな担い手へ

5月17日、浜田市が主催する初心者対象の西条柿栽培講座がスタートしました。10名の受講生の中には、「将来のためにいろいろな作目を幅広く勉強したい」との思いで参加した浜田市ふるさと農業研修生の姿もありました。

この日は、県西部農林振興センターの梶谷普及員から、西条柿の特徴や年間の栽培管理について説明を受けた後、春の主要作業である摘蕾（てきらい）を体験するという内容でした。これから1年間の作業を通して技術を学んでいきますが、この講座の修了後には、毎年数名が実際に栽培を始められています。今年も一人でも多くの担い手が誕生するよう、充実した内容の講座にしていきたいと思えます。



認定農業者支援チーム（担当：松井^{まつい}・前原^{まえばら}）

県知事とのランチミーティング

5月12日、溝口県知事が、後野町にある(有)佐々木農場（佐々木一郎社長）を訪問され、有機野菜の栽培状況を視察されました。

その後、石見公民館に会場を移し、知事と、佐々木社長を含む「いわみ地方有機野菜の会」の会員11名が昼食をとりながら語り合うランチミーティングが行われました。知事が会員一人ひとりに質問するかたちで終始和やかに進められましたが、若い農業者の前向きで真摯な発言に知事は何度もうなずかれています。

個々の力には限界があるが、仲間ができれば力が増して可能性が広がること、そのためには核となる人・組織の存在と行政の後押しが必要であるということを改めて考えさせられる場となりました。



集落営農組織支援チーム（担当：森井^{もりい}・鎌原^{かまはら}）

(農)西の郷を紹介します

弥栄町の農事組合法人「西の郷」は、30～40代の役員選任や確定給与制を導入するなど、「若い世代が主役となる農業」を目的として、平成18年に設立されました。水稲・大豆をはじめとする全品目で「農薬・化学肥料を無使用もしくは低減した栽培」「土壌分析・堆肥利用による土づくり」「遠赤外線乾燥機や色彩選別機の利用」による美味しく高品質で安全な農業を実践されています。

この度、産直ネットショップ「A-Gena(エージーナ)」を開店し、たっぷりのミネラルを吸って育てた「コシヒカリ」と「きぬむすめ」を販売されています。代表理事の美浦竜太郎さんは「お米を通じて地球と生物、人々の健康に貢献するため、食の安全・安心や信頼に心え続けるとともに、本物作りを追求していきたい」と意欲満々です。

お試しセットもありますので、ぜひご利用ください。



(農)西の郷 組合員の皆さん

エージーナ

検索

click

< <http://www.rakuten.co.jp/agena/> >

2. 遊休農機具あつ旋コーナー〔譲ります〕

今回紹介するのは、**農用運搬機(歩行型)**〔型式:ECZ300〕です。河島農具製作所の製品で、平成14年式ですが、年に数回程度しか使用していないとのこと。最大500kgの積載が可能で、装着されている木枠は取り外すこともできます。軽トラックに載せるためのブリッジも併せて10万円を希望されています。

購入を希望される方、現物を見てみたい方は当支援センターまでご連絡ください。所有者様に取り次ぎます。

なお、**遊休農機具情報は随時募集しています**。他人に譲っても良い農機具があればお知らせください。



3. 「しまね屋木工堂」がオープンしました



相生町のシティパルク浜田2階に、県産材を使った木製品の製造直販ショップ「**しまね屋木工堂**」がオープンしました。(企画:財団法人島根県西部山村振興財団)

ヒノキやスギを使って製造された上質な家具に加え、かわいらしい子供用の机や椅子、個性豊かなおもちゃも並んでおり、小さなお子さんへのプレゼントとして喜ばれることと思います。木材の「地産地消」にもご協力をお願いします。



輪投げ遊びができる「Pツール」

「しまね屋木工堂」の商品はインターネットでも購入可能です。
<ホームページ <http://www.rakuten.co.jp/sansonsinkou>>

4. アライグマにご注意ください!

今年4月に、浜田市宇津井町と三隅町で**アライグマ**の生体が確認されました。

もともと日本には生息していない動物でしたが、ペットとして飼われていたものが野生化して増殖したものと考えられています。

愛らしい外見に反し、**非常に獰猛**で、狂犬病やアライグマ回虫など**人に感染する病原体を持っています**。繁殖力が非常に高く、生態系や家屋、農産物などに害を及ぼすため、浜田市では捕獲を推進しています。



食害されたスイカ

体はネコより一回り大きく、しっぽのしま模様が特徴です。アライグマを目撃された方は浜田市農林課(22-2612)及び各支所産業課、島根県西部農林振興センター林業部(29-5604)までご連絡ください。



アライグマについては、「**広報はまだ7月号**」に詳しい情報が掲載されますので、あわせてご覧ください。

当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

発行元 **浜田市農林業支援センター**

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp